

大歡聲！ガクト謙信出陣

八月二十五、二十六日にわたり謙信公祭が行われました。NHK大河ドラマ「風林火山」に謙信公役で出演中のガクトさんの出陣行列に、八万人を越える沿道の人々から大歓声が轟きました。二日間ですべて二十万三千人を越える人出でした。

まさにただ者ではない。謙信公祭に颯爽(さつそう)と登場したガクトさんの印象である。わずか一キロの距離を白馬に乗って行進しただけなのに、残したメツセージはこの上もなく大きかった。

沿道を埋めつくした八万人の観衆を魅了した、あのパワーの源はどこからわき出てくるのであろうか。圧倒的な目線の迫力、すべての人に届けとばかりに馬を、あやつり雄姿をを披歴する気配りには感動させられた。

「運は天にあり、鎧(よろい)は胸にあり、手柄は足にあり、的を掌に入れて戦えば疵(きず)つくことなし。」謙信公が春日山城の本丸の壁に書したといわれる「壁書」を独特のセリフ回しで語りかけられて鳥肌が立った。「死なんと戦えば生き、生きると戦えば必ず死するものなり。」と続けたあとに、二度の震災に見舞われたこの地域の皆さんと続けた。「今こそ立ち上がる勇氣(むかし)を」と熱く語りかけたのであった。抜いた刀を天にかざした姿は、折からの月に映えて謙信公と重なって見えた。精神を集中した迫真の演技は、神々しさを感じさせた。

練られたセリフの中に、優しさをにじませたガクトさんに、勇気をもらったと興奮しながら語る若者の言葉がうれしい。この日をすべての人は忘れない。

(八月二十八日(火)の上越タイムス「波動」より)

われと立ち上がるう

ガクト謙信出陣

祭公信謙

戦後の世を駆け抜けた
 よういで舞を認め、口た神秘的な美しさに
 郷土市長・上野謙信公
 「ガクトさん、王座降参
 馬にまたがった「ガクト」は、すさまじき
 の道徳をたてる。謙信
 近い敵軍が襲撃した
 史跡公園にも登場。やん
 ガクト護衛は特別隊
 の中でスボットライトを

「勇気を出せ、われどもに立ち上がろう」とほいメッセージを送り、一矢からの復讐を祈った。



太刀を手に馬を四し、出陣行列で最後のパフォーマンスを見せるガクト陣

に産した

相違は人々。ま
ばた言を惜しんで一点た
けを見つめる姿があつ